關大

発行所
関西大学校友会
大阪府吹田市千里山
編集発行人　林　信之
電話大阪（388）1821代表
振替口座大阪　55594番

41年度総会日程きまる

千里祭と呼応して関大会館で十一月三日

昭和四十一年度の校友会総会は十一月三日、文化の日を期して行われることになった。ちょうどその日は、大学でも千里祭を挙行している最中であり、校友多数の参加が期待される。会場は、学苑の中央に聳え立つ関大会館、昨年新装成ったばかりの、校友会の中心である。

総会は、年一度の、校友相互の親睦の場であり、校友会の発展を誓い合い、また大学当局、学生との理解と連繋を高めるとともに、郷愁にも似た千里山生活をなつかしむ場でもある。

総会の行事などについては、総務、事業両部で検討中であるが、記念パーティ、アトラクション、土産品など多彩な行事、催し物を用意し、できるだけ多くの人が楽しく過ごせるとともに、家族同伴での参加を希望している。

大学もいよいよ拡大され来年度には社会学部の新設や、工学部でも電子工学、土木工学、建築工学が増設されるなど、総合大学の実を固めつつあり、われらの学園を緑に！の緑化運動も展開されている実情を、千里祭の華やかな催しとともに総会当日を有意義にしたいものである。

学園を緑に！

校友会植樹募金を強化

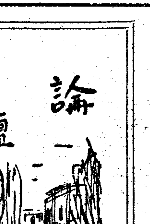
前号にもふれたように、自然の秀麗、千里山の誇りをとりもどすとともに、学園らしい落着いた森の大学にしようと、大学当局は造園計画を進めているが、これに校友会も協力するため、事業部を中心にいよいよ「植樹募金」に着手した。募金目標は二百万円で、一口千円とし、校友の賛助を求めるとともに、特に支部、職域会、同期会にも協力を願い、目的達成に努力する。支部、職域、同期会に対しては組織部も大いに働きかける、母校であり同時に校友の心のオアシスでもある千里山を、文字通り緑にし、特に校友会募金の二百万円では、関大会館周辺に植樹を計画しており、クス、マテバシイ、ケヤキ、クヌギ、サワグルミなどを植える予定である。

校友会役員も改選

総会当日の議事

校友会の会長、副会長、各部長を始め、常議員、代議員も任期が今秋で終了するため、新代議員の改選が、十一月三日の総会に上提される。その手続きについては総務部担当で運営されるが、隆盛の一途をたどる校友会のため、識見すぐれ会務に熱心な校友が選ばれるよう期待したい。七十周年記念を一つのマイルストーンとし、八十周年を迎えた昨年の、豪華な催し——会館の新築や、フェスティバルホールでの前夜祭、機関紙「関大」の驚異的な発展等々、最近の校友会活動は、支部、職域会などの組織強化とともに順調であるといわれている。

今秋の総会で選ばれる新役員にいまから望みを托すとともに、厳正公平な選考、選出が行なわれることを希望したい。



論壇

混乱する日本語

正しい言葉の表現を

文部省の、国語審議会の作業が依然として難航である。日本語の複雑性、特に漢字あるが故に、教育の場で、国語教育に費す時間が長く、中卒者でも、ろくに新聞が読めない事情を勘案して、常用漢字は戦後著しく制限され、また簡素化された。英語などの二十六文字の組合わせで自由に綴られる音表文字から見れば、たしかに日本語の綴りは難かしい。筆者もかって日本新聞協会の用字用語委員をつとめ、日本語の簡素化に努力した。そして出来るだけ仮名文字の使用による音表化への道を進んだが、カナ文字論者や、ローマ字論者までの域には達しなかった。常用漢字だけでも、意味を表わすには不足で、特定の漢字は常用の枠内に、そっと置くことにした。

いま国語審議会が、委員の再編成にまでなったのは、終戦後、絶対多数をしめていたカナ文字論者らの「音表派」の行きすぎに、漢字の持つ美しい意表を、制限された枠内でも生かそうとする「意表派」の抵抗から出発している。たしかに、六年の小学校だけでは、一人前に文章も書けぬし、もう三年、中学を卒業しても、文字は間違いだらけ、いや、それから高校三年、大学四年と七年の学生生活を終えても、その文章は間違いだらけで、一般新聞社でも文章の標準を中卒者で読めるものの範囲で、用字用語を使っているが、それでも表現などに苦心している。

だが、果して、日本語はそんなに難かしいだろうか。国語教育がそんなに学生をいじめているだろうか。前号に佐伯近鉄社長が、技術部門はとにかく、事務はいかに近代化され、分類化されようとも結局、ヨミ、カキ、ソロバンの応用と活用にある、勉強を怠らぬようにといわれたのは適切である。この基本を忘れて、応用面ばかりに走っているのが現代学生気質ではないのか。

こんな国語問題をいまさら本欄にとりあげたのは、高邁な論文を書くためではない。折柄いまの時期は、各会社の社員採用試験のシーズンだからだ。

試験問題に大の男が生涯の方針を托して答案を書いているが、実にたくさんの誤字や、アテ字を発見する。音表派ではないが、そんな覚えていない字は、カナで片づければいい。ところが、漢字を使わぬと、どうにも通じない「意表」そのものを巧みに駆使している若者もいる。

さて面接である。この方は、文字は必要ないから、思った通り答えればいい。

だがこれも駄目である。先ず敬語の使い方を知らない者が八十％、上司に使う言葉と、同僚間に交わされる言葉、と特に区別する必要もない。ただ上司に対しては、気をつけて、正しく表現し、先輩に使う適当な敬語、それでいいのだが、つい友人間で使っている言葉をそのまま口から出してしまう。

用字用語の難かしさを論ずる前に、日常会話を整理し、一つのレールをしいてあげたいのが筆者の気持であり、学生自身の反省ではなかろうか。

あえて、ラジオ、テレビを罪人にする訳ではないが、ミーハー族の（いや女子大学生でも）やけに使う「すごく……」「やになっちゃう」から、口の中でチューインガムをカミながらかも知れぬが、何とも不思議な舌足らずの言葉、会話が終った瞬間に、スペイン語か英語か、訳のわからぬ歌を歌う移り気、先輩、上司を気にしない（あるいはよい面かも知れぬが）ペチャクチャおしゃべり、しかも内容は実にナンセンスなもので最後にキャーと笑う娘さん達、いやこれは、女子だけではない、男子の会話にも知性がなく、必要以上にいわゆる流行語を使う。

国語の混乱は、思想の混乱を生む。ビートルズに泣き叫ぶ若者は一時の熱病か、スポーツかも知れないが、日本人は、日本語を大切にしたい。入社試験の若者の文章のまずさ、言葉の低俗さ、これが将来の日本を背負って行くのだろうかと、うそ寒くなる。

学校教育の場で、「ことば」の純粋性と、知性の高さを再教育出来ないものか、ラジオ、テレビの下劣な司会番組を消されないものか。毎年採用試験の時期になると感じる日本語の混乱である。

コンタクトレンズ
登録　商標
メガネ
大学堂
本店　心斎橋筋
TEL（271）7891
支店・阪神百貨店5階
・オー生命ビル専門大店

教育後援会も

「緑」の植樹募金

在学生の父兄で構成されている教育後援会は、大学における教育の成果をよりよきものにするために、大学外苑内に学生総合合宿所や、公認プール等を建設して、大学に寄贈したほか、研究助成、学生の諸活動に対する援助など大きな役割を果たしてきた。

特に母校創立八十周年の際は、巨額にのぼる募金に協力されたものである。

このたび、校友会の植樹計画と軌を一にして「緑」の募金を展開して学園を緑にする大学の植樹計画の一翼をになうことになったことは、喜ばしいことで、ともども成果をあげて、学園緑化を成就したいものである。

写真は、第三学舎からみたグランド、図書館、第一学舎

教授登壇

新設「社会学部」の教務委員長を務める

教学部長

植野郁太教授

□…教学部長室で面会を求めると快よく応じられ、なごやかに話しが進んだ。学生時代の千里山の思い出。その当時の千里山と今の千里山。話しはつきないほどである。かゆい所に手が届くような、ていねいな話し方。柔らかな物腰温厚な人柄である。

□…「社会学部」の話しになるとガ然よくしゃべられた。さすがに新設が決まった同学部の教務委員会の委員長を務めておられるだけのことはある。「社会学部は、充実したものになりますよ。私が教務面を担当しているので、自慢するわけではありませんが。まあ見ていて下さい」「私が教学部長としては、初仕事でもありますから、どこの大学にも負けないようないいものを計画して着実に進めています。今はもう、総仕上げの段階に来ています」と自信たっぷり。

□…商学部では会計学を担当されているが教学部長になってからは、学部の教授会にも出席できないほど忙がしい、とこぼしておられた。大学の教学面における責任者としての苦労話しも明るい表情で話され、森川学長の補佐役も十分果し切っておられる。「教学部長は、無任所大臣のようなものだ」とも語っておられたが、それだけに今回の社会学部に対する熱意は、たいへんなものである。

□…短期間ではあるが、学徒動員にもかかり出され、そこでは指揮官を務められたそうである。その指揮ぶりが、まことに名指揮で、部下に対してはやさしく、氏の人柄をよく表わした指揮ぶりだったそうである。この話しは、この時に指揮を受けた学内の某教授の話である。この話を当人の面前ですると、「いや、あの時のことかね」といって笑っておられた。

昔も今も、その面では変っておられないようである。新設「社会学部」の教務面でも、〝名指揮〟ぶりが見られるかもしれない。

□…昭和十六年関西大学商経学部商学科卒業後、関西大学に奉職。商学部長歴任。きっすいの関大人。教授。今年の二月から教学部長の任につかれ社会学部設置委員会、教務委員会委員長を務める。四十七才、蛍け池。

学生・校友相互理解を

校友会、学友会と懇談

お互に話せばわかる。世代の断層はあっても学生も卒業生もともに大学をよりよい大学にしたいという点で一致しているのだ。学生の直面する問題も卒直に聞き、また現状を説明して、相互に理解し合って、信頼できる先輩であり後輩でありたいとの校友の願いが実って、一部学友会執行部とは六月二十八日午後六時から、二部学友会執行部とは同三十日午後六時半から大阪証券会館で懇談会を開いた。

校友会側からは津田組織部長、木藤事業部長ほか出席して、校友会の組織、事業、財政状況を説明して、学友会並に傘下の諸行事諸活動には積極的な援助をおしまないことを表明した。

一部学友会桑田委員長は当面する大学の危機に対処して方向を誤らぬよう善処したい。二部学友会森川委員長は、厚生施設の拡充社会学部設置による二部新聞学科の廃止反対、二部は将来も天六学舎でなど要望があった。当日出席した樫本副会長は、法人評議員会議長であり、法人役員も校友が多い関係もあって、学校に対する要望、不満は先ず校友会に相談してほしい、校友会としても協力してゆきたいし、何事も新聞沙汰にして光輝ある関大の伝統と名誉をけがすことのないように行動してほしいと意見の交換をした。なお学友会発行の機関紙、学生新聞を校友会役員に配布してもらうように依頼し学友会はこれを諒とした。

昭五会も関大会館で

次期当番幹事決定

五月二十一日関大会館において昭五会の会合が行なわれた。当日の出席者は二十三名で場所が千里山の母校でもあったので、一同当時の学生生活を追想し、母校の偉大なる発展ぶりにうたれた。またおたがいの健康を祝しあい各自の近況を語り、楽しいなごやかな一日をすごした。

なお、この席上、行俊氏ほかの会員から、「近年、会員中から不帰の客となる人の漸増する情況からして、今後、当会員ならびにその夫人に不慮の事故があったときは、その家族の方からその旨を昭五会幹事あてすぐに連絡してもらうこと、昭五会幹事は会を代表して不帰の客となられた会員の家族に弔意を表すること」を満場一致で議決した。

また出席会員一同により次期の当番幹事を次の通り決定した。

▽西田順道　西村剛　高橋孟　岡島勝　山村茂　行俊藤太郎　森田義治

関西大学

讃歌のレコード頒布中

申込みは校友会事務局へ

関西大学讃歌、学歌、学生歌を集録したレコードが、このほど完成し発売されている。

このうち讃歌と学生歌は関西大学創立八十周年記念事業の一環として、その光輝ある歴史と伝統を讃えるために制定されたものである。

演奏は朝比奈隆指揮による大阪フィルハーモニー交響楽団並びに大阪放送合唱団で、昭和四十年十一月二日に開催された関西大学創立八十周年記念前夜祭の大阪中之島・フェスティバルホールで録音されたもの。

讃歌は北条秀司作詞（校友）清水脩作曲、学生歌は明珍昇作詞（校友）緒方京子作曲（校友）による。

なお、頒価は送料とも三百円、申し込みは「関西大学校友会事務局」まで。

たくましい槌音

学舎・研究室の地鎮祭

六月二十五日午前十時より、久井理事長・森川学長・樫本評議員会議長・岡野校友会会長を初めとする多数の出席の下に第一学舎・第三学舎及び法文研究室増築の地鎮祭が第一学舎北側で行なわれた。竣工予定は来年の三月末、四月の新学期から使用されることになっている。面積、階層内容は次の通り。

第一学舎　五六五二、八平方㍍
五階建一棟
三階建一棟
（一部二階）
（LLS、視聴覚教室を含む）

第三学舎　三二一五、五平方㍍
三階建一棟

法文研究室　四〇三三、〇五平方㍍
七階建一棟

なお設計は、野村・森建築事務所、施工は竹中工務店。

写真は地鎮祭のクワ入れをする久井理事長

父兄懇談会を

教育後援会が八・九月に

例年地方父兄を対象とした父兄懇談会が本年も左記の通り実施される予定。これは大学当局が地方父兄と直接懇談し、入試に関する種々の問題や現在の大学および大学生のあり方など巾広い内容をもりこんだもの。

ハンケチ趣味の会
楽しく、美しいハンケチを毎月お手元までお届け致します
グループをお作りになれば特典があります
会員募集
世界名所シリーズ　月会費　五〇〇円
トップモードシリーズ　〃　五〇〇円
花柄シリーズ　〃　五〇〇円
花刺繍シリーズ　〃　一〇〇〇円
エチケットシリーズ（紳士用）　〃　一〇〇〇円
〃（婦人用）　〃　一〇〇〇円
ウェッディングシリーズ　〃　三〇〇〇円
案内書差上げます
ハンケチ趣味の会
大阪市城東区今津町1005
電話（961）2808（968）9175番
休日・夜間専用（961）6112番

山本教授欧米へ

昭和四十一年度関西大学在外研究員として山本栄一郎文学部教授は、D・H・ローレンスの作品にあらわれた方言を研究、同時にノッチンガム大学にて同作家に関する資料研究のため六月二十六日（日）午前十一時新大阪駅を出発した。

山方助教授仏へ

山方達雄文学部助教授（フランス文学専攻）はフランスの教育中央研究所の招きで七月五日午後二時新大阪駅を出発。フランス文学を主に研究し、帰国は四十二年三月の予定。

秋山助教授英へ

秋山肇文学部助教授（英米文学専攻）は日本私立大学連盟より派遣されて六月二十二日午後一時新大阪駅を出発。帰国は八月の予定。

住友セメント
泉州生コン　特約販売店
原田セメント化工株式会社
代表取締役　原田重信
本社　大阪市此花区朝日橋通2－13
電話　大阪（461）代7525～9

会と催し

◇応援団OB千成会　7月17日午後2時　京都粟田山荘
◇英友会OB会　7月24日午前11時　関西大学会館
◇日立関大会総会　7月31日午前11時　関西大学会館
◇全国支部・職域・同期代表者会議　8月13日（土）午後2時　大阪市東区北浜一　大阪証券会館

葦の雫

七月も半ばを過ぎると、本格的な夏型の季節に入る。今年の長期予報では、カラ梅雨のおそれと言われていたが、六月下旬の台風4号から、よくも降り続いたものだ。水害日本の名にはじず、各地に被害続出、大阪では、道路がいたるところで水づかりとなって、交通が遮断されるありさま。あふれた水が家屋に浸入して、これでまたひと騒ぎ。これでは、道路は「道」でなくて、下水がわりと言わざるをえない▽聞くところによると、大阪市内の下水管は、明治の末から昭和十五年ごろに敷設されたもの。当時は、雨水の半分は地中に吸収される計算で、下水管の太さをきめたようだ。それが全面舗装になった今日では、水のはけ口は下水管以外にはなくなってしまったのが原因の一つ。それに拍車をかけているのが、自動車の運ぶ土砂や、心なき人の捨てるゴミ。一切を役所の責任にしてしまうのも気の毒な気がする▽もう一つ、道路にあふれて被害を及ぼしているのが、自動車の排気ガスである。この方は、公害問題として、最近とくにその対策がやかましくいわれてきている。排気ガス中の一酸化炭素が血液の中に、知らず知らずにたまってくることが恐ろしいのである。さきごろ、栃木県黒磯町で起った用水トンネル内での、ガソリン発電機の排気ガスによる惨事がその適例である▽排気ガスを出す自動車の数は年々ふえる一方。昭和五十年の大阪府下の自動車は約七十四万台と推定されている。三十七年の三・一倍となる。頭痛がする、ノドが痛む程度ではすまない事態になることも予想される。産業の進展に伴って交通輸送機関が増えることはやむをえないとしても、レジャー用のマイ・カーなど、どうであろうか。人命尊重の観点から、ここらでやめにしては▽世の中が、万事余り便利になりすぎると、反面思わぬ被害に悩まされると同時に、人間がせかせかし過ぎてうるおいが無さすぎる。機械に振り回されている感じがする△花と緑につつまれた、美しい環境での生活は望むべくもないが、自然への憧れは万人共通の願いであろう。各人の努力で、できるだけ自然の保存につとめたいものだ。その意味からも、母校学園の緑化植樹運動を立派に実らせたいと願う。

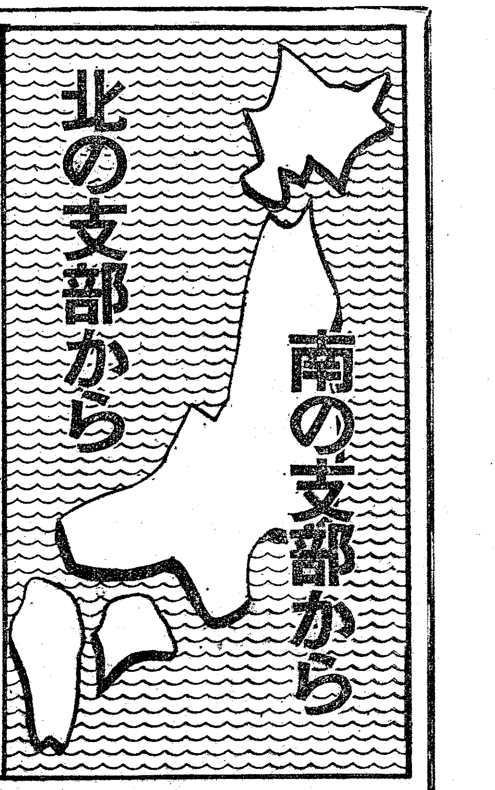
英国紳士服地
英国サビロールコールマン社
英国T・Bアンドサンス社　日本総代理店
高級紳士服地
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目（電停前）
電話大阪（231）〇五六五・〇五六六・〇五六七
大阪駅前店　第一生命ビル専門大店
電話　大阪（361）六七一七

＊日本全国をもれなくネットし
躍進する太平グループ
北は北海道より南は鹿児島まで日本全国に支店・営業所200余ヵ所
家づくりからレジャー事業まで安心してお任せ願える
太平グループに、ぜひご相談ください。
太平グループ提供テレビ番組
〔ミノルフォン青春スターパレード〕
毎週日曜・午後6時30分より
毎日放送テレビ（4チャンネル）
太平グループ提供ラジオ番組
ミノルフォンアワー
〔ヒット歌謡ショー〕
毎週日曜・ヒル12時30分より
近畿放送
太平会館
太平グループに新らしく〈太平会館〉が加わり11社となり、同会館経営のレストランスカイルームが太平ビル10階に開設されました。
●各社営業案内書御一報次第贈呈
大阪支店・大阪市西区阿波堀通り（信濃橋交差点）
電話（531）7531代表
太平ビル18階（太平グループ各本社収容）
大阪支店
太平グループ
太平住宅　太平火災　太平ビルサービス　太平観光　ミノルフォン
理研映画　太平木材　太平印刷　太平出版　タイヘイフィルム　太平会館
本社・東京新宿駅南口甲州街道沿・太平ビル　電話（343）1111大代表～1169

あなたの住まいのプランに大和銀行がお手つだい
融資型
住宅信託
○お積立てのお申込みは、窓口で住宅信託の申込書を出していただき、金銭信託（追加式）にご加入願います。

	5年コース	3年コース
積立期間	5カ年	3カ年
積立金額	毎月5千円～3万円（千円きざみ）	毎月1万円～5万円（千円きざみ）
実施期間	最初のお預入れから5年後	最初のお預入れから3年後
融資額	お積立て月額の100倍まで（50～300万万円）	お積立月額の100倍まで（100～500万円）

信託併営
大和銀行



北の支部から　南の支部から

大学は北も重視を

北海道支部再発足

北海道

先年支部長中田克巳知氏が亡くなって以来、中絶していたが、在道有志校友の尽力によって、七月九日（土）午後四時から札幌市外手稲町のテイネオリンピヤハッスグリルで再建発会式を開いた。校友会本部から寺西代議員会副議長がはるばる出席され、道在住判明校友三十八名のうち当日は碇一夫、石井得志、飯坂幸雄、河村賢一、久志本多計志、中田克道、橋本幹男、堀尾栄治の諸氏が参集、二四％の出席率であった。

自己紹介ののち、支部会則案を承認して、役員選出し、岡野校友会長、久井理事長、森川学長のメッセージのテープに耳を傾け、寺西氏からの詳しい母校並に校友会の現状報告があった。さらに創立80周年記念式典の記録映画によって、遠く離れた母校を眼のあたりに偲ぶことができた。

母校の発展を聞き見るにつけ、大学は中京以西の西日本に主力をおいているように感ぜられるのであるが、今後は東北、北海道にも発展の余地があり、札幌でも地方試験を実施するように大学当局の一考を煩わしたい、というのが在道校友の熱望するところである。再発足した北海道支部の今後の活動を見てほしいと支部では語っている。

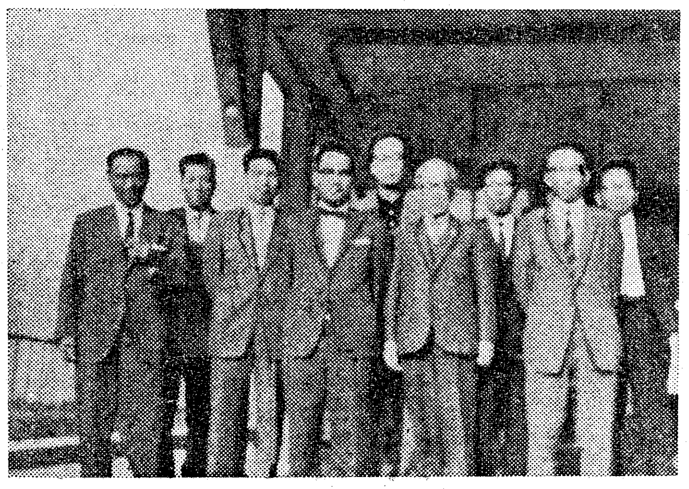
当日決った役員並に事務所は

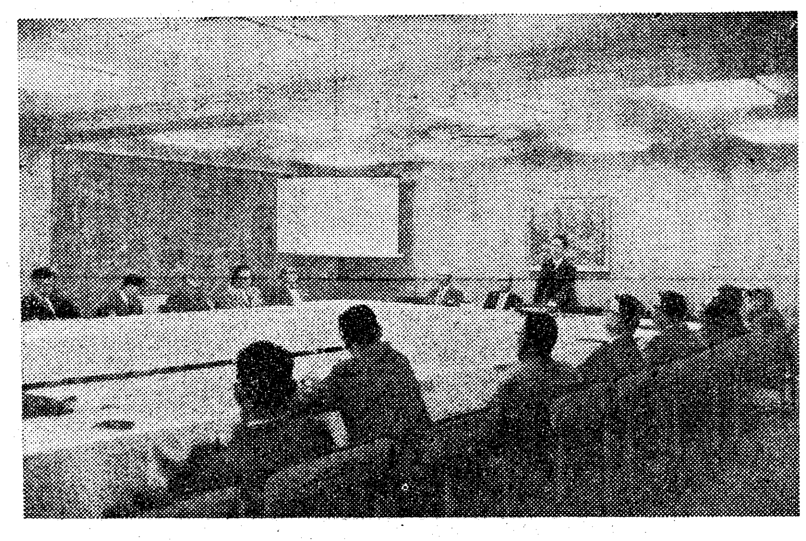
支部長　藤田和夫（大3専法・弁護士）

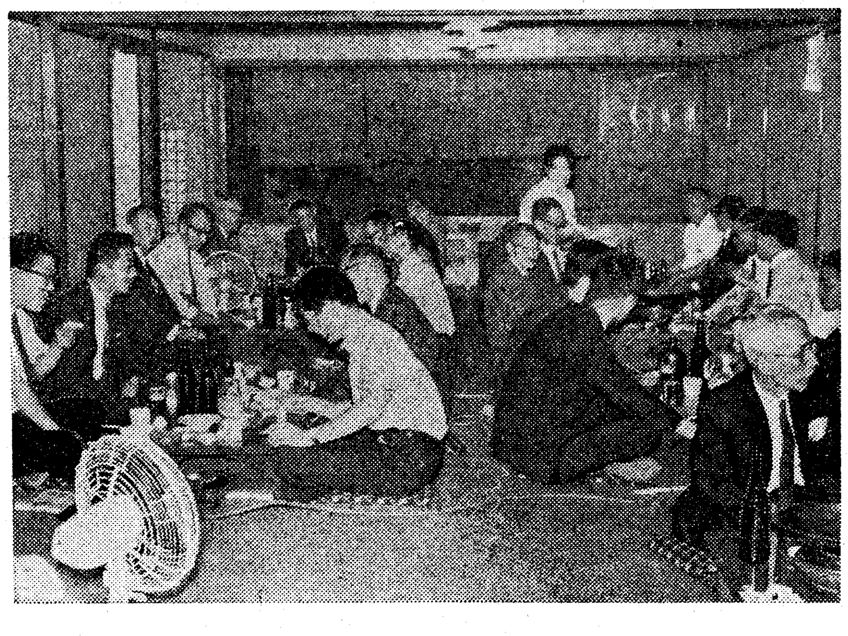
副支部長　岡本理一　橋本幹男

幹事　中田克道　河村健一　石井得志

支部事務所　札幌市大通西十二丁目中田克道方（電）22局三五五五番







上　北海道支部の再発足に参加した会員

中　経済人クラブで講演する高堂助教授

下　東支部の総会風景

人それぞれ

口…山口定亮氏（大6専法）はこのほど私学振興、地域開発等の功績をもって、去る四月二十九日勲三等瑞宝章を授与された。叙勲の理由は「私学経営上の危機を克服し、その管理育成に努力し、私学振興に寄与した。また、交通機関に関与し、地方開発に寄与した功績は顕著である」（総理府発行・日本の勲章）というもの。

口…「私が近畿大学の前身、日本大学大阪専門学校に関係してから（監事及び理事）今日まで約三十三年間お世話をした経営管理育成の微力を高く評価されたのだと思います。ただ私は、その時の責任者を信じ、その人を援け陰の協力者、俗にいう「縁の下の力持」として隠れた奉仕をして満足して居ったので、かかるお酬いを受けようとは夢にも思いませんでした。だから今回の叙勲は先人及び関係者各位の不断の努力の結晶の賜であって決して私一人のものではありません。」と叙勲の喜びを言葉少なく語られた。

口…近畿大学では創立当初からの功労者で、歴代の山岡・故小野村・故世耕学長時代に陰の立役者として学長を強力に支援し今日の大学の礎石を築き、現在も惜しみなく同大学の発展に尽くされている。

勲三等瑞宝章を受けられた　山口定亮氏

青年時代に大阪財界に頭角を現わしたその英才ぶりは、今日でもいささかも減じていない。最後に「私は母校関大を第三者的立場から見、母校に直接力を尽くすことはできなかったが、今日の関大のすばらしさには、目を見はらせるものがあり、母校出身者の各方面に於ける活躍ぶりも頼もしいかぎりです」と一校友にもどって語っておられた。

口……山口氏は明治二十九年大阪府枚岡市生れ。八尾中学を経て大正六年関西大学法科卒（昭和二十五年慶応大学推薦校友）大正八年㈱千日土地建物（今の大阪劇場）を創立し専務取締役。同十年㈱生駒枚方電鉄専務、同十三年信貴生駒電鉄取締役、昭和三年近鉄系㈱信貴山急行電鉄の免許を得て代表取締役社長となる。（同社は昭和十八年十月近鉄と合併解散、氏は近鉄重役待遇となり現在に至る。）

昭和七年日本大学大阪専門学校監事就任、同十年十一月理事、同十四年、十八年、二十四年に大阪専門学院、大阪理工科大学、近畿大学と改称するが、引続き理事に就任現在に至る。

なお昭和十年大阪工業会評議員当選現在に至る。同十五年清交社理事、常務理事、監事歴任評議員当選現在に至る。同二十四年大阪商工会議所議員に当選、理事に選任、同三十九年公益事業に寄与したことにより紺綬褒章を受章。同四十一年私学振興の功により勲三等瑞宝章受章。

支部長杯争奪戦を

粟津温泉で支部総会

石川支部

支部の規約では、総会は年一回以上開催しなければならないことになっている。現在の規約ができてから今年で七年になるが、過去総会はたいてい春秋二回は開いている。

本年春の総会は、五月の青葉の頃に開く予定であったが、延びて六月二十五日に開催した。現在校友は百名を数えるようになり、今回は若い校友の発案で、場所に温泉を選び、小松市の粟津温泉でのんびりゆくこととした。

今年は役員の改選がない年でもあるので、会は始めからはずみ、殊に、昨年から当県ご出身の教職員一名を招待することに決めてあるので、本年は商学部の寺尾教授（石川県松任町出身）の外に、校友会神屋敷事務局長のご出席を願って、まことに有意義な総会であった。

三時間に渡る宴会がつづき、この間、歌あり、漫談ありで、久方振りに心ゆくまで学生時代の気分にひたったものである。

ところが宴会終了後が大変。当支部では総会終了後に、マージャン、囲碁大会を開くことになっており、支部長盃争奪戦が展開されるのである。午後十時から午前二時まで、一喜一憂の戦局がくりひろげられ、若い校友は勿論のこと年輩の校友も共々一夜を楽しくあかした。

結果、次の者が優勝し、翌二十六日の朝食の折に、塩田支部長から授与された。ここに楽しい総会を終了したのである。

序に、優勝者は、マージャンの部では藤田博氏（北国新聞、昭30文卒）囲碁の部では、木梨与松氏（弁護士、昭16、法卒）である。

なお当日の出席会員は、石崎伝成、石崎儀一、石垣康弘、小倉正一郎、加賀谷敬治、木梨与松、木沢隆、小間井与一、小森精悟、塩田親雄、原隆三、林喜久男、土方政雄、藤原秀夫、藤田博、松村稽作、宮下憲二、本井甚樹

以上

80周年映画試写

支部長に田中氏重任

南支部

六月十七日（金）午後六時から南区大宝寺中之町「大成閣」で支部総会を開いた。生憎当日は校友会本部の部長連絡会があったが、母校から今井常務理事が出席されて、創立80周年記念式典の記録映画を試写して大学の発展ぶりに感銘し、よりよき大学へとの母校愛が誰の胸にもよみがえるものがあった。

役員改選の結果、支部長には田中藤作弁護士重任、副支部長に中谷政男、鎌田嘉之、滝口武雄の三氏、幹事長に霧田武氏が決まり、役員改選の機会に今後前向きの姿勢で支部の運営にあたることを申し合せた。

支部長に片野氏

支部役員を改選

東支部

七月四日（月）午後五時半より東区道修町「美々卯」で昭和四十一年度大阪東支部の総会を、岡野校友会々長及び神屋敷事務局長を迎えにて開催された。

「美々卯」の社長薩摩氏の司会で議事が進行され、支部長大阪市会議員植田完治氏の挨拶に始まり、支部の今後の発展のために一層努力することを申合せた。また先年死去された松本・木村両氏のため冥福を祈り、大阪東支部結成以来今日まで十年支部長として尽力を願った植田氏が最近公私共に多忙のため役員改選の申出があったので、司会者が出席者に計ったところ、全員の総意で役員を改選した。新規役員は次の通り。

名誉支部長	植田完治
相談役	尾坂照雄
〃	森田文一郎
支部長	片野総一郎
副支部長	薩摩卯一
〃	家満登武彦
〃	進藤輝夫
幹事長	田中幸治

役員改選後、岡野会長より関西大学の近況が報告され、創立八十周年記念映画で全員母校の発展振りを見て感激した。そのあと、岡野会長の乾杯の発声で宴会をとじた。

なお、出席者は次の通り。

植田完治　小寺光和　片野総一郎　小西萬市　薩摩卯一　進藤輝夫　尾坂照雄　谷駿　森田文一郎　中村章一　家満登武彦　並川治郎　東栄　吉田順光　井上淑一　榎本博　上田潤二郎　尾松八十二　村上精三　紀井昭三　神野孝雄　川楠典男　猪師猛（順不同敬称略）

労務管理の講演

高堂助教授、経済人クで

関大経済人クラブ（会長三好萬次）は三十余名の出席の下に七月十一日午後五時半より大阪証券会館で開催した。

例会は関西大学創立80周年記念映画の上映後、本学商学部助教授高堂俊弥氏による「労務管理の近代化と合理化について」という題で講演があった。最近の労務管理の問題点を解剖し、労務がスムーズに運用されるために近代化及び合理化への方法論がもりこまれていた。懇親会では活発な意見の交換があった。

「自動車関大会」（仮称）設立準備すすむ

六月三日六時、関大会館三階において、四十一年度支部活動の重点を業界に於く方針第一号として各職域代表十名にて準備会を開催

一、経過報告　寺西武（日本軽自動車㈱）

一、主旨　千歳克郎㈱巌

一、各職域における状況発表

一、結成の方法、範囲、規約等に討議

会員一致にて結成決定、次回三十名位の拡大準備委員会を開催することになった。

主旨概要

一、同じ学園に育ち、同じ大阪で同じ職に就く者同志が知り合い話しあえる道をつける。

二、異った立場々々よりの業界観を交換し、広い視野に立ち、良識を養う。

三、職業を通じ何か母校のお役に立ちたい。

資料情報等キン密な連累在学自動車部への便宜、後輩を積極的に業界に迎えいれ活躍の道をひらき又励まし合う。等々

鉄砲光三郎君と私

京都支部　西田秀吉

八月一日〜十二日　京都南座公演をひかえて

（ゲ）ーテの戯曲ファウストの天上の序曲の中に「努力する者は救われる」と言う名句があります。人間は自分自身に天から与えられたものを実現するために、また個人の完成に邁進する姿であらねばならないと思います。この努力をする者は、その道程はとも角として最後は救われると存じます。四月十五日号「関大」紙上、校友会活動について肌と肌をふれ合せた支部活動の道標を見出し度いと申しました。

（現）在私は京都における校友諸兄との交りは持って居りますが、他都市校友とは疎遠に流れて居ります。然し先日校友会本部よりの御連絡もあり「意気」と「ド根性」の持ち主で、関大の生んだ異才であり、芸能人である、鉄砲光三郎（昭27大法卒）校友と一席を過したのであります。これは鉄砲君が来る八月一日より、十一日まで、意気と度胸を太鼓に乗せて「唄と芝居」を京都南座において華々しく公演されるための支部幹事会を開催したのですが、鉄砲光三郎・光子夫妻を初め多数来場され盛会でありました。卒直にいって、これ迄の私の芸能人に対するイメージはこの時完全に打破されたのであります。杯を重ね、話しに花を咲かせて居りました間、私は鉄砲君の人間性に強く引きつけられ、華やかな舞台姿の、亦強烈な根性をその侭、舞台一杯に繰り拡げる鉄砲光三郎君を忘れ、校友として、後輩として、関大を母体とした一本の紐に結ばれた金襴の鉄砲君を見たのであります。

（彼）の河内音頭は地域的、時期的、観客年令層等幾多の制約が有るにもかかわらず、その困難を乗り越え、河内の鉄砲節を日本の鉄砲節に躍進せしめた、意気と根性に驚嘆し、且つ彼の人生観に関大建学の精神と一脈通じるものが有ると私なりに感じ取ったのであります。組織と権力に屈せず、河内音頭を守りぬき、躍進せしめた彼の努力は、並々ならぬ苦労の連続であった芸の裏話しにも感銘したのであります。マスコミに生きる芸能人としては当然の姿でありますが、其の奥に一本筋の通った不屈の関大魂を見つめ、ふと私は児島惟謙先生を初め関大創立者群の諸先輩が権力に屈せず、法を権力から守りぬいた、あの心意気を更めて知らされた様な気がしたのであります。校友会に於ける相互援助は支部活動の一大支柱であると存じます。求められれば、校友各自は応分の後援はおしみなく差し上げ、其の成功を共に喜び合う事こそ、校友会の特権ではないでしょうか。鉄砲君も最近自己のレパートリーを益々拡げつゝある由を聞き、家伝の河内音頭を主軸にした、同君の一層の飛躍を期待するものであります。

（先）日の幹事会の席上、光子夫人が光三郎君の汗を自分のハンカチーフで、ソットふいてやっている光景を横目で見まして、これでこそあの肉弾の様な鉄砲節が生れるのであると私は、ひそかに感激した様な次第であります。「先輩!! ワイは関大出身や、ヤッタルデ、南座で関大精神を舞台一杯に、ブチマケタルデー」と歯をかみしめた鉄砲君を、より一層躍進せしめるため京都府市在住、並に隣接都市の校友諸兄!! 鉄砲君の晴れの舞台を是非一人でも多く御来場御声援下され、なおおしみなく後輩の美技に拍手を送ってやって下さる様御依頼申し上げます。（なお御連絡は京都支部事務所又は本局㉒二六二一番西田迄願います）

栗坂氏の出版記念会

席上で植樹募金を

神戸関大クラブ

栗坂諭氏（昭12専一法、昭15大法卒）は本年三月四国公安調査局長から大阪高検検事に栄転したところ、この度二十六年に渉る官界生活を去り弁護士を開業、神戸経営法学研究所を開設した。近著「企業防衛」の出版を記念して七月六日午後六時から神戸市生田区山手通「北京楼」で祝賀会を開催。

向井常務理事の開会の挨拶につづき山崎理事長から祝詞を述べ、栗坂氏の謝辞があり、角田顧問の発声で一同乾杯した。当日は七十余名の出席で非常に盛会。校友会本部で企画中の母校植樹寄贈の提案をしたところ一同賛意を表し、その場で別記の通り申込みがあった。

なお、栗坂氏は今後政界に進出すべく準備しているとのことである。

植樹寄附者名

五千円　山崎敬義・関大二二会
関大三八会
三千円　向井裕亮・水本信夫
難波方・角田好太郎
水本千代松・橋本太一
内海明・栗坂諭
二千円　井向清一郎
一千円　宮崎正三郎・田村光嘉
宮川三郎・川崎保
三佐藤岩夫
（敬称略・順不同）

蓮井敏雄氏を再選

四年ぶりに総会開く

川西支部

校友会川西支部総会は、六月二十八日七時半から能勢口ショッピングセンターに校友二十五名が集まって開かれ、蓮井支部長を再選し支部活動を積極的に再開することを決めた。

久代副支部長の司会で開会、自己紹介のあと、蓮井支部長から約四か年間休眠状態にあった実状とその原因、同氏の心境などが語られた。ついで、名古屋から転入の富永氏から、親子三代関大に学びたかったが……と入試と校友子弟の問題について述べられ、母校勤務の江原氏から、関大の近況と入試について説明があった。

活発な意見交換の後、役員改選に移った。蓮井支部長から辞意が表明されたが、再任を望む声強く、同氏も就任を受諾した。

支部長　蓮井敏雄（川西・司法書士　市議）副支部長　久代俊夫（川西・大阪薬品）家永一郎（多田東谷、旭案内広告社取締役）高橋道郎（川西・京阪神住宅社長）幹事長　三宅啓正（川西・宝塚観光地開発取締役、東亜高校講師）副幹事長　来田政和（日本工業新聞社）＝以上校友会代議員　同　妹尾信也（栄根企業社長）同　江原光津雄（母校）同　南原良雄（料亭[illegible]づま　BBS会長）

懇親会に移り、八月の市長選出馬について蓮井氏から所信が明らかにされ、多数が出馬を支持、久[illegible]

朝鮮人同友会へ

大学校友会から感謝状

六月十六日、関西大学朝鮮人同友会（会長金長松氏）から寄贈された刺繍額二面（盛花花瓶図は校友会へ、松鶴図は大学へ）に対して、七月十一日、関大会館で、金会長ら出席のもとに、校友会からは、櫟本副会長から、そして大学側からは、久井理事長が、それぞれ、朝鮮人同友会の一層の発展と諸氏の活躍を望みつつ、金氏に感謝状の贈呈をおこなった。

なお、同友会は、校友会終身会費二十名分、金十万円を取まとめて払い込まれた。

なお校友会の感謝状の内容は左記の通りである。

感謝状

貴会は、母校関西大学創立八十周年を記念して、盛花花瓶刺繍額一面を本会に寄贈せられ有難く拝受致しました。

茲に感謝状をおくり、深甚の謝意を表します。

昭和四十一年七月十一日

関西大学校友会々長　岡野衛士

関西大学朝鮮人同友会
会長　金長松殿

マンドリンクラブ　OB会発足

関西大学マンドリンクラブ・OB会発会式は七月十日（日）午後三時から同大学外苑にある関大会館・三階会議室において開催した。

当日は、遠路広島からかけつけるものなど二十名の会員が出席、野口雅弘君の司会のもとに建設的な意見が述べられた。

当日討議された議題は次の通り

一、役員選挙の件（規約成立後正式に選出する）

会長　福家恵一（38年度[illegible]

会計　藤田喜三（40年度[illegible]

二、規約作成の件

規約作成準備委員七名を[illegible]次回総会時（十一月二十[illegible]定）に規約を決議する。

三、中央大学との交歓演奏会[illegible]

四、大阪府学生マンドリンの[illegible]

五、OB会費の件

なお、当OB会の連絡先は[illegible]阪市北区野崎町77　大阪読[illegible]聞社販売局TEL（三六一[illegible]三九一　後藤気付になってい[illegible]

関銀関大秀麗会

第8回総会開催

昭和四十一年七月二日（土）午後五時〜六時三十分、母校新本館内（三階第三会議室）において第八回関銀関大秀麗会が開催された。関銀秀麗会員三十一名中出席予定者は二十五名であったが、当日の実質出席者は二十七名であった。しかし出席率は毎年のこと極めて良好で、欠席者も殆んどやむを得ぬ事情によるものであった。

総会内容は次の通り

四十一年度関大出身新入行員は守口支店　種田昌弘（経一部、四十一年卒）一名と例年に比べて、寂しい状態であったが、同君の紹介と大学側中山事務長の最近の大学の動向を聴取し、全員、今後の大学の今以上の発展と、同窓一致団結、母校の名誉にかけて、行務に精進することを誓い、確認した。会場より、遠大なパノラマ式に拡がる母校の建物と千里の住宅街を一望する景観と、関大学歌の流れる中で和気アイアイ。一時間半の所定時間が短か過ぎてなごりを惜しみながら閉会した。

八十周年記念事業寄附者芳名 (33)

関西大学創立80周年記念事業[illegible]位並びに在学生父兄、関係[illegible]録し、深甚の謝意を表します。

◇今月号　八〇万七〇〇〇円

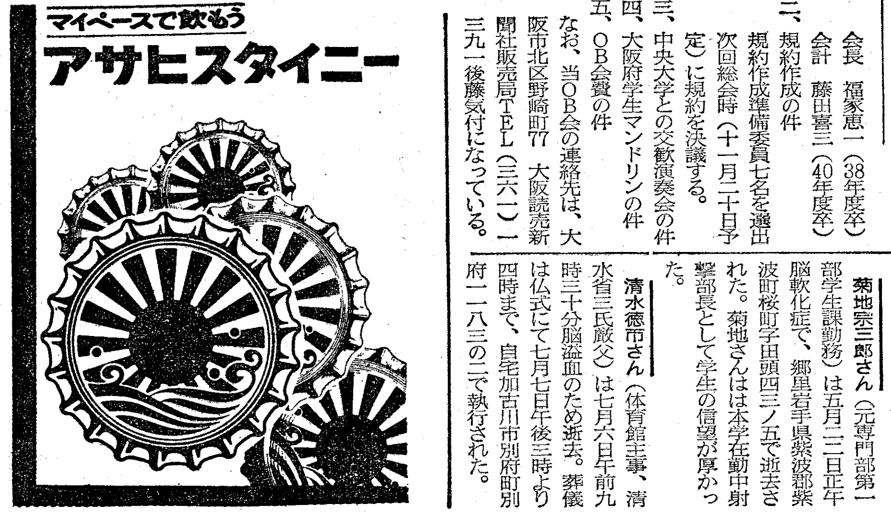
◇合　計　[illegible]

▼十六万円　戸根泰雄（十五[illegible]申込みを変更）
▼十万円　大江久五郎
▼六万二千円　藤田友次郎
▼五万円　光陽塗料㈱
▼三万五百円　大塚平夫
▼三万円　伊東順一　阿部正[illegible]
松尾高一　宝達清一[illegible]
▼二万五千円　吹田市役所関[illegible]
▼二万円　村上昇　塩本一郎[illegible]
本淑　川井幸太郎　柳楽喜裕[illegible]
場晴男
▼一万円　中江達雄　梅田薫[illegible]
本正吉　岩本公夫　山田正治[illegible]
忠男　尾崎信夫　瀬古一雄[illegible]
保河秀雄　千巻㈱池田久蔵[illegible]
▼五千円　耕三寺弘三　大神[illegible]
上田勝次郎　島田信一　田所[illegible]
安部豊　森尾善一　中野唯[illegible]
井敏彦　貴村一雄　太田一雄[illegible]
島豊一　和田義光　渡辺代次[illegible]
新田芳雄
▼四千円　北福寿一
▼三千円　黒部英行　大方敬[illegible]
梶村武光　内海完一　櫛山勝[illegible]
安田淳五　矢野斉士　勝原睦[illegible]
関啓朗　上野邦彦　松本昌明[illegible]
▼二千円　有住健二　森茂敏[illegible]
戸寿一　高巣丈　鹿毛茂勝[illegible]
堅　西尾亨　森井俊一　石丸[illegible]
瀬戸義直　木村一雄　石原文[illegible]
村岡洋　田中吉照　古川元治[illegible]
村徳市　前田利久　水谷正男[illegible]
谷弘　溝江譲　岩崎茂夫　織[illegible]
郎
▼一千円　木野本賢三　芳野[illegible]
福江博　津茂谷豊蔵　中畑隆[illegible]
村田智昭　白石卓三　高橋昇[illegible]
木喜平　山本泰邦　笠井宏純[illegible]
口杉太郎　松島浩　長橋紘一[illegible]
岡敏行　佐田勝紀　辻本芳夫[illegible]
田昌良　浜野圭市　森本正彦[illegible]
伸彦　杉尾元義　桜間浄三[illegible]

[illegible]

近畿相互銀行
本店　大阪・東区・本町二丁目

元大阪府労働部長
寒川労働コンサルタント
所長　寒（かん）川（かわ）喜一
事務所　大阪[illegible]
電話[illegible]
住所　大阪[illegible]
電話[illegible]

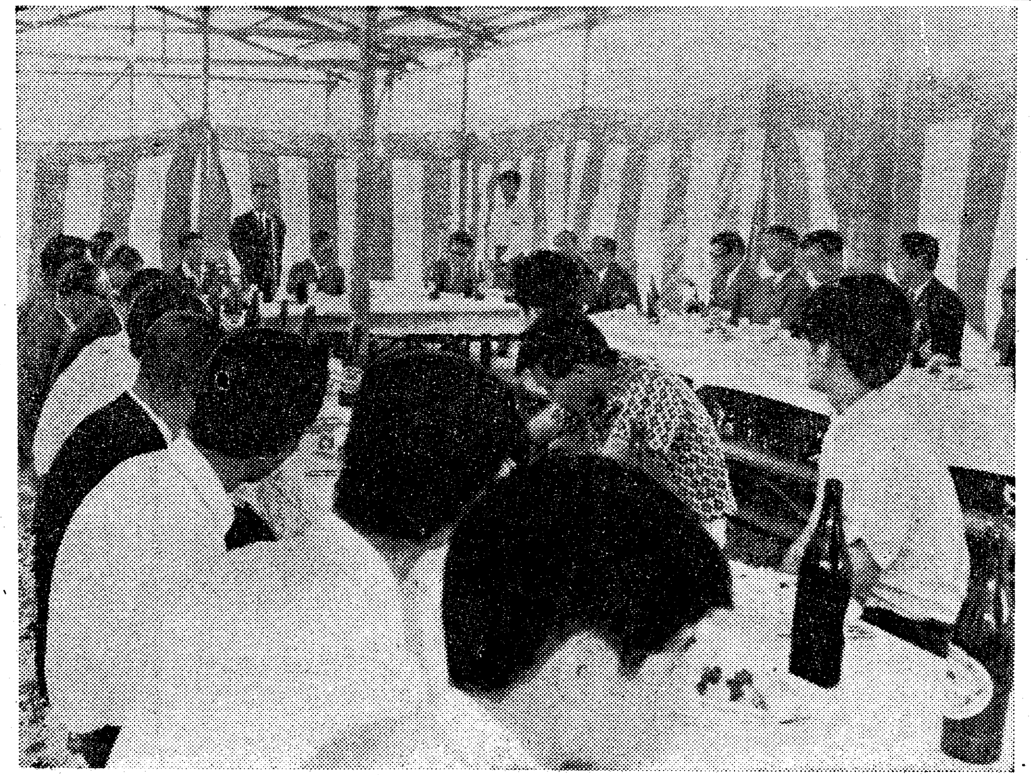

マイペースで飲もう
アサヒスタイニー

官公庁・一流会社ご指定!!
※校友の方には
特に安価にてお買求めいただきます。
中野製茶(株)　代表者　中野久一
（昭33経卒）
本　　社・三重県上野市小田町・電話（上野）1521
大阪事務所・大阪市北区中之島3−5三井ビル・電話（441）3731

夏の学生の憩いの場

彦根テント村開村

彦根テント村が七月九日午後十二時半、森川学長・今井常務理事桑田一部学友会中央執行委員長ほか多数の出席の下に開村式をした。



テント村開村式

開村式は桑田委員長・森川学長・今井常務理事などから挨拶があり最後に地元井伊彦根市長（代理）の挨拶が送られ、式は午後一時半ごろとどこおりなく終った。

このテント村は今年で二年目。設備もまだ不充分だが、去年は予想よりも多数の学生がこのテント村を利用し、こぞってその意義を讃えていたために今年も学友会中央執行委員会は開村させたもの。

多数の参加を呼びかけていたので、夏期休暇中は連日賑わい、関西大学「彦根学舎」が生まれる程に盛大が予想されている。

そのための受け容れ態勢は不充分ながらも整えている。

冬のスキー学校（関大菱山の家）をはじめ学友会中央執行委員会は多彩な催しをその活動方針に組み入れ、現在の大学の中で喪われつつある〝何物〟かをとりもどそうとしている。

そのために、彦根テント村の成果はいろいろのところから期待されている。特に福利厚生の面からは、課外活動の一環としてとらえられ、夏の強烈な太陽の下に、心身ともに大いに錬磨し、人間形成に役立てたいと願うのも道理。

なおテント村は八月末まで開村し、学生課で予約申し込み（一日三食付四百円）を受け付けている。

学研 文化会

リーダースキャンプ開く

学研本部・文化会本部は次のような予定で夏期リーダースキャンプを開催する。

学研本部
場所・洲本　なべ藤旅館
期間・七月二八日～三十日
参加人員・約八十名

文化会本部
場所・坂手　小豆島荘
期間・八月二五日～二八日
参加人員・約百十余名

学研・文化会本部はリーダースキャンプを通じて、平和的・民主的精神をたてまえに人間性を尊重し、より豊かな学園生活と課外活動を通じての人間形成を達成せんがためのものとして、今回のキャンプを位置づけている。

西日本学生経済ゼミナール

経済研究部が参加

今年も、六月三・四・五日に、西日本学生経済ゼミナールが九州大学で開かれた。迎えて12回目である。名古屋以西から参加する大学は18校をかぞえ、持ちよったテーマは部門別共通30、自由15の多数にのぼり、それらの内容は、現状分析としては国際経済の日本経済に及ぼす影響を吟味することから特に日本経済の不況の性格に焦点をしぼり、また理論検証では、スミス、リカードの理論から国家独占資本主義論にまでいたる問題を掲げた。ところで、このゼミナールの輪廓を紹介すると、名古屋以西の国・公・私立大学で経済学・経営学・商学を学ぶ学生が〝西日本学生経済ゼミナール〟を組織し、毎年一回西日本大会を開催している。本大会は西日本各大学のゼミナールや研究会での日頃の研究成果を年に一度、一堂に持ち寄り発表し討論する場で、その運営は全て学生自身の手で行なわれる学生のための研究大会である。11年前の松山商科大学大会以来質量ともに充実してきて、その存在意義が広く認められてきている。

経済学を学ぶ学生にとって、西日本各大学の同僚たちが、いかなる問題意識をもち、どの程度の水準で研究活動を行っているかは大きな関心の的となる。研究成果の交換、相互批判の場としてだけでなく、同僚たちが、どのような状況の下に経済学にとり組んでいるかを知るためにも、恰好の場である。そこで私達関西大学経済研究部も5部門に応募、そして4部門合格の下に参加したのである。経済研究部としては今後、関西ブロック、全日本、関西学生経済研究会連合会の参加を決めているが、いつまでも初心を忘れずに頑張って行くつもりである。

最後になりましたが、こうした大会の意義に賛同され、多大の御援助をして下さいました校友会に対しまして、この紙上をお借りして再度、厚くお礼を申し上げます。

上林教授が講演

関大会館で修士会総会

関大大学院修士会昭和41年度総会は六月二十五日（土）午後二時から千里山大学外苑内の関西大学会館で開催した。

安橋会長のあいさつ、来賓代表の中川工学研究科長の祝辞があって、会計会務の報告、会則第七条を変更して副会長三名、常任理事七名とすることに決定、任期満了による役員は、選考委員藤井氏ら九名によって決め、追って全会員に報告することになった。

第二部講演は、会員上林良一氏（法学部教授）の「アメリカの集団理論」は教授のアメリカ留学による豊富な経験と学殖は深い感銘を与えた。

講演終了後、森川学長、池田、中川研究科長先生らを囲んで時を忘れて懇談、千里丘陵たそがれるころ散会した。

来賓　森川、池田、中川先生
会員　安橋　藤井　有福　上田
岩田　山科　赤松　福元　中西
萩野　坂戸　横田　河崎　北川
山田　岩崎　桜井　矢田　連
泉本　南　松井　平野　平井
藤井　明珍　栗駒　高橋　栗林
茶谷　辰巳　三好　造田　前川
藤川　明松　朴　堀　西田
森　老野　山本　小崎　大鳥
上林　木曽（順不同敬称略）

サークルめぐり

創立二十周年を迎えた

邦　楽　部

御堂会館で記念演奏

クラブの一年間は、新入部員の勧誘に始まり、四年次生の追出しコンパで終る。大学生活への夢と希望を持った可愛らしい新入部員が、この循環を四度くりかえしクラブ生活にもなれ、そろそろ中年のいやらしさ（？）を示すようになると追出しコンパでぽんとほうり出されるのです。「俺は尺八、君は琴……！邦楽部へどうぞ」およそ松君の漫画「邦楽部ザンス、シェー」で入部した者は十数名、入部の動機は？　尺八がお琴が好きだから、友達を作るため、人格形成のためなど様々です。なにはともあれ上級生が新入部員にかける期待は大です。「うまい奴がいるかな、根性の奴いるかな」と思う者もいれば、「可愛らしい娘いるかな」と思う者もいる。そうして六月になると、単独演奏会〝邦楽の夕〟にそなえ練習が本格的になり、遂には、マージャン禁止令まででる。朝はまだ露のあるうちから、夜はとっぷり日が暮れるまで日本間から尺八、琴の音色が千里山に響きわたります、とクラブ生活アラカルトで述べているように邦楽を通して大学生活を送り、邦楽を通して人格を形成している。現在のエレキブームの中で一人静かに邦楽をたしなむ若人。ここにも若人の清い姿がある。

邦楽部も千里山にその優雅な調べを奏でて早や二十年。

創設二十年記念演奏会をかねて第八回関大〝邦楽の夕〟を七月三日午後一時半より御堂会館で開催成年になった邦楽部を讃えて、文化会本部や森岡章氏のピアノ賛助や放送研究会がその成功に一役かった。

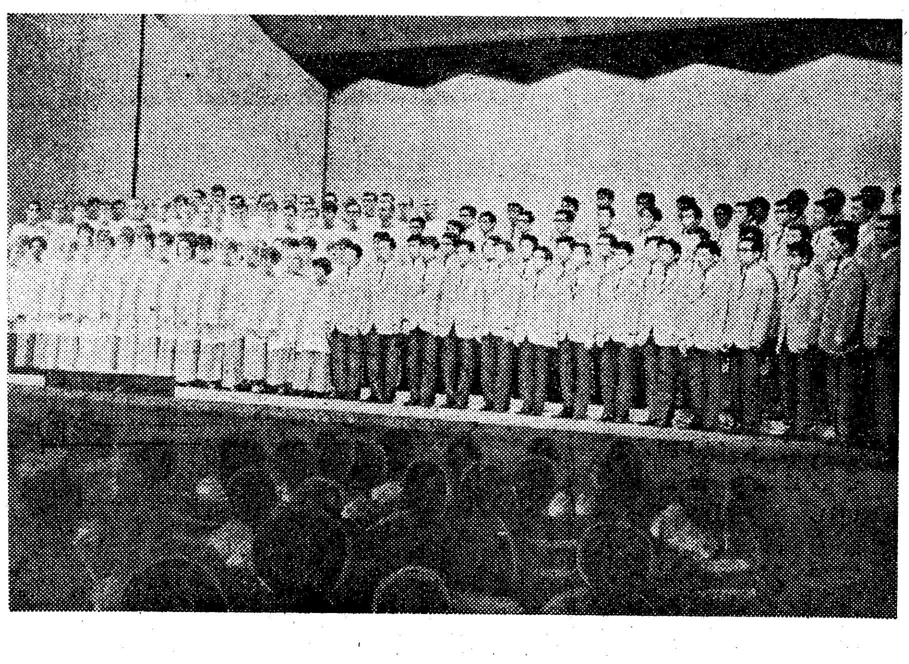
記念演奏会は一部二部にわかれ二十年間培われてきた成果の上に新しい力がみなぎり、長唄、地唄箏曲など多彩な編成をくりひろげた。邦楽のもち味を遺憾なく発揮させ、洋楽、邦楽に脈うつ真髄を極めようとしてグノー作の「セレナーデ」はまたひときわ印象深かった。

二十年をむかえた邦楽部もこれから先、練習に練習を重ねながら、小豆島の夏期合宿へ、そして、芸術の秋・音楽の秋の合言葉の通り、催しにおわれおわれしながらいつの間にかそれも過ぎ去り、枯風吹きすさぶ冬へ。そして春に。

きびしい練習は今日の演奏会の喜びとなり、喜びは練習の支えとなり、一歩一歩邦楽の真髄に近づいていくことだろう。

第八回関大〝邦楽の夕〟のプログラムに「戦後、何もかもがアメリカナイズされてきた中で、我々若人の手で微かながらも長い間幾多の人により受け継がれてきた民族の文化・伝統の芸術〝邦楽〟を守り続けてきたことは非常に意義深いものです」と書いてあったが、今後の邦楽を守りそしてより発展させようとする意気ごみはありありと窺える。

今後の邦楽部の発展を祈りつつ筆をおく。



ウィッテンベルグ大混声合唱団と共演するグリークラブ　（7月7日大阪毎日ホールで）

盛大に交歓演奏会

グリー　ウイッテンベルグ大と

ウイッテンベルグ大学（アメリカオハイオ州）混声合唱団と関西大学グリークラブが七月七日、大阪毎日ホールで交歓演奏会を開いた。同合唱団は、七月一日に来日し、三日東京、五日京都でそれぞれ公演して来阪したもの。同大学はルター派のミッション・スクールとして一八四五年に創立され、一二〇年の長き伝統に培れながらその名声をうたわれている。

ウ大合唱団九十余名は各地ですばらしいハーモニーを披露しながら来阪したもので、同日一時半から関大会館ホールでESSの司会で歓迎レセプションを開いた。

レセプションは終始なごやかな内に進み、日米学生の友好は最高潮になったところで、毎日ホールの交歓演奏会に向った。

グリークラブ員はこのレセプションを「関大にこれほど多くの外国人が一度に会したのも始めてですし、外国から来た合唱団を関大の一クラブが主催して交歓会を催したのも始めてです。このような行事を通じて、クラブ員として、関大の一学生としてたいへん意義深いことであったと思います」とその成果に堪能していた様子。

毎日ホールでのジョイントコンサートは一部・二部にわかれ、約二時間エール交歓をした。

一部はウ大合唱団は、ポピュラーを中心に「大いなる愛」をはじめとする七曲、関大グリーは組曲「富士山」を、二部をグリーは民謡による北国の歌より「南部牛追い歌」・「田植歌」など四曲を、ウ大合唱団は「野生のエルザ」・「小さな弟」など六曲をくりひろげた。L・D・ミラー氏、浅井孝之氏の名指揮により、観客はエールに陶酔し、満場一杯の拍手をうけながらウ大合唱団と関大グリークラブの交歓会は終わった。

このウ大混声合唱団は、アメリカ国内の大学合唱団の中でも高名で、海外にも広範に演奏旅行をおこない各地で名声を挙げ、「オハイオ州音楽親善大使」と指名され、世界一周演奏旅行の途中に関西大学に訪れたもの。一行九十余名は本学との交歓演奏後、伊丹から台湾に向かった。

交通随想三題

亀井一夫

一、万国博鉄道

国鉄、阪急、大阪市交通局そろって万国博覧会場への線路延長を拒否したという新聞記事を見たとき、私は思わず「快哉」と叫んだ。ただでさえ鉄道は「金を失う道」と書くとおり、もうからない仕事である。採算の見込みがつかない線路はたとえ一メートルたりとも敷設すべきではない。

ある人はいうであろう。「万国博は、東京オリンピックについで日本あげての国際的な国家行事であるから、採算を度外視して万国博覧会への鉄道を敷設すべきである」もしこの意見がとおって鉄道が敷設されたら、その建設費や経費は誰が負担するのか、おそらく建設した鉄道の経営者負担となるのであろう。そして建設費の償却や経費は運賃という形となって利用者にはねかえってくる。国鉄は別として、他の事業者が最近建設または延長した鉄道運賃は在来の線区に較べて割高である場合が多い。新線においてはこの割高運賃をもってしても採算に無理があるのが常識である。鉄道事業者は収支の状態が悪化すると運賃改訂という方法で問題の解決をはかる。この方法以外には機械設備その他による企業の合理化という手段があり、これも併せて進められているが、これには限度がある。運賃改訂の気配がおこると利用者側はいちおう運賃値上反対の気勢をあげるが、運賃をすえおかれても事故防止の面で問題がおきるようなことになると、安い運賃でわれわれの生命を預けることもできなくなる。しょせん運賃改訂は認めなければならない。

万国博会場用地は行事終了後に有効な利用法が考えられているとかいわれているけれども、いまの状態では単に絵に描いたモチである。いまのような海のものとも山のものともわからない状態では鉄道を建設する時期ではない。国土開発、新都市計画の場合、イタリーのニューローマが例にとられ、まず道を造り、上下水道、電気ガス電話工事を進めるのが正しい順序だといわれている。そうあるべきだが、この場合、鉄道の建設なり赤字補填（てん）が利用者に舞い戻らない方法、つまり国費――といっても税金でまかなわれ、結局われわれのふところから出た金ではあるが――によるべきである。鉄道が議員の票あつめのために建設されたり延長され、その後始末は利用者自身にまかされるような現下の交通政策が今後もまかりとおるようでは、われわれは「国策にそむく」ことを知りつつも万国博鉄道建設反対に賛同せざるを得ないのである。

二、くたばれ自動車

テレビのCMを見ていると「国際ラリーで国産自動車が優秀な成績をあげた」とオニのクビを取ったように自慢している。戦前あやしげな免許で乗れる小型車が文字どおり外車の後塵（じん）を拝して車道の片隅をヨタヨタ走っていた頃のことを思い出すと、たしかに国産自動車もよく成育したものだ。そしてこの種の自動車から軽ナニナニという得体（えたい）のしれぬものまで多種雑多のものがせまい道路にひしめきあうようになった。都市において道路率が十パーセントあるかないかというのはたしかに道がせまいことを意味している。

このせまい道も自動車類さえすくなければ問題はないはずだ。あれだけ沢山うごめいている自動車類は全部が全部必要性をもって動いているのかどうか。毎日毎日交通事故によって多数の人命が失われ、交通戦争というなんともいやな新語さえうまれるようになっては、自動車は人命をそこなうためにあるものという考え方さえもちたくなってくる。「こんな社会に誰がした！」と叫びたくなってくる。

自動車の生産については通産省、自動車の所有、取り扱いについては運輸省、自動車の運輸についての有責事故は法務省、そして自動車を含めて道路交通の指導取締には警察庁や公安委員会という具合に自動車に関する行政担当が複雑をきわめている。この複雑怪奇な自動車行政が自動車横行の野放し放任に至ったといっても決して過言ではない。

そもそも道路は公共のものである。公共のものである以上誰もが平等に使用する権利があるはずである。現状において道路平等使用の原則が認められているのであろうか。長さ十三米の路面電車に百人以上の乗客が押しつ押されつしている横を、一人か二人しか乗っていない六米ほどの自動車が通りすぎる。通勤途上のサラリーマンオフィスガールは僅か三米の歩道の人の洪水から車道にハミ出し、暴走自動車を気にしながら車道の片隅を歩く、これでは道路平等使用もヘッタクレもあったものではない。

さのみか、自動車にはハンドルがあって右にも左にもたやすく向きをかえることができるという性質をもっている。これがまた危険千万、真直走るであろうと思われる自動車がいつ歩道上を安心して歩いている者に体当りを食わせるか予断を許さないばかりか、わが家で太平の夢をむさぼっているところでも招待なき訪問をする代物でもある。十字路で信号にしたがって横断中の歩行者を側面から殺傷するのも自動車、がけの上から、ビルの上から落ちてきて罪なき者を死傷させるのも自動車である。

くたばれ自動車！軽四輪車一台買えぬ安サラリーマンとして私の自動車に対する精いっぱいの抵抗である。こういう信念を培って自分は自動車など持つべきではないと自分自身にいいきかせている。

三、色

ある新聞で交通信号機の「進め」を表示している色は青か緑かというようなことが出ていた。道路交通法では緑色灯と規定してあるが、一般には停止信号は赤信号、進行信号は青信号と呼びならわされている。

現物を見ると、あれはどうも緑ではなくて青に近いようである。鉄道信号でも色灯式信号機といって三色の色を使っているが、ここでも文字の上においては進行信号は緑色灯である。これは国鉄、地方鉄道とも同じ表現で規定してある。私は一度信号機の中に収めてある色ガラスそのものを見たことがある。進行信号用の色ガラスは、明らかに青であった。鉄道では「青」を「緑」と教えているのである。

第二次大戦直後、国鉄も私鉄も運転規程が大きく改正されたことがあった。当時当用漢字がすくなく、橙という字が認められなかったので、注意信号に使う色は黄色灯と表現して規定された。その後再び橙黄色に戻ったが、戦前の橙黄色、終戦直後の黄色、そして現在の橙黄色、この三者は現物においては何ら差異はない。これらは鉄道を含めて交通事業者が「色」に関してきわめて無関心であるという証拠であろう。

国鉄の車両が戦前では夢も希望もないような暗い色に塗られ、内燃動車や電車の一部にわずかに変った色が使われていたのであるが昭和二十五年頃出現した湘南電車以後、明るい色が積極的に使われるようになった。当然車両屋とよばれるグループの人たちも「色」の勉強をしたと思うが、この人たちの自慢であった湘南電車、例のミカンの実と葉ッパを意味する二色塗を折から来日した有名なコマーシャルデザイナー（タバコのピース外箱をデザインした人といわれる）にこれを見せたところ彼は黙して語らなかったといわれている。古来、日本では素材そのものの色を使うことはよく研究されているが、人工の色を使うことについてはあまり深く研究されていなかったようである。だから社寺建築にあっても「青丹よし……」方式の塗り方は中国文化の完全模倣で日本人の独創性は見あたらない。

むしろ塗ることを軽べつしながら自然の色を使う技術が進み、絵画にしても墨絵や淡白な色彩が行なわれてきたのである。だから日本のように色の歴史の浅いところですぐれた色彩感覚を求めることが無理なのであろう。

いろということばの意味がColorのほかSexをあらわす場合にも使われるのは、自然を愛して人工色をさげすむ考え方と、Sexについて開放的でない考え方との間に何か共通するものがあるようにも思われる。仏教思想の「色即是空、空即色是」などといっている仏徒の色に対するレジスタンスについて超然たる態度を要求されるにもつながり、色も「いろ」も日あたりの悪い場所に追いつめられてしまったのではあるまいか。

（昭和十六臨大経・鉄道友の会評議員）

掲示板

▼私は昭和十九年八月一日、新京南嶺の満州第七五八〇部隊（通信兵連隊）に「み号要員」として在満応召したものですが、いっしょに応召されたかたの中に関大出身者があられたはずです。お心当りの方は一度私のところへご連絡下さい。戦友の消息を交換しあいたいと思います。

大阪市西淀川区柏里町三ノ二三、崎谷三郎（昭十二法）
TEL471　五三六二

◆左近義弼訳、聖書私訳「使徒行伝」「詩篇」お持ちの方で、関大図書館聖書コレクションのため、ご寄贈下さると幸いです。明治四十年以後の同訳者の他の私訳が揃っていますので是非ご協力を得て完うしたいのです。

千里山・関大キリスト教青年会

阪和・天王寺
西下胃腸病院（入院随時 健保取扱）
院長　西下正己
大阪市天王寺区北河堀町54（天王寺ステーションビル東二百米）
電（771）2450・7063

原稿募集

毎号手元にお届けしております関西大学校友会機関紙「関大」も発展の一途をたどっておりますことは、愛読者各位の御支援の賜と存じます。

さて機関紙「関大」の原稿を次の要領にて募集しておりますので御協力下さい。

随筆、短歌、詩、写真、「私の立場」、その他どしどし投稿して下さい。

なお原稿には、卒業年度、学部を付記して送って下さい。

吹田市千里山　関西大学会館内
関西大学校友会機関紙「関大」
編集部宛

わたしの立場

天王寺消防署 消防士長　松下敏彦

私は、消防に奉職して未だ六年の新米でありますが、常日頃の私見を記し、読者の方のより一層の深いご理解を賜わりますよう、敢えて筆を執った次第であります。

御承知のように近代産業の目覚しい発達により、火災の様相は大型化、複雑化し、大阪市の場合を例にとりましても昨年中、火災件数一、八四七件。その直接損害は焼失面積約八万平方米、損害額約十一億円で、これに伴う間接的損害を加えると、非常に大きな社会問題であります。

私達消防職員は、この莫大な被害を軽減するため、日夜、立入検査を始め地水利調査、各種訓練等に励み努力しているところでありますが、ひとり消防だけでは十分な効果を挙げることは出来ません。市民の方々の積極的協力なくしては実践不可能な現況であります。

といいますのは、消防が火災を覚知する方法には、住民の通報と望楼発見の二つがありますが、後者は覚知迄に相当の時間がかかるので、主として前者に依存しております。ところが住民の中には、意外に封建時代からの火災事故隠蔽精神と狼狽心理から、大都会でさえ覚知に平均五分かかっています。消防隊出動がスムーズに行った場合でも放水するまでにおちこち平均五分はかかります。そうすると合せて十分の消防空白時間があることになります。それに比べ、出火してから燃え拡がってゆく速さ即ち燃焼速度を検討してみますと、実験から $A=1.44T^2+6.4T$（A～面積㎡　T～時間）となり、出火時を零分として十分を経過した時には、一分の七・五平方米の十倍ではなく二〇八平方米となり、経過した時間の十倍は面積では三十倍程となり、普通建物では屋内一杯に火焔が充満して盛んに延焼中で、火元全焼は免れない結果になる現状であります。ところが今日の交通事情は益々悪く、停滞や麻痺、その他消火栓上の不法駐車などを考え合せると、この空白時間はそれ以上に延びることも暫々。

結論として、何んと云っても火災は未然に防止することが最善であるが、万一出火した場合には初期に発見し、小規模のうちに防御鎮圧し、その損害を最少限度に阻止する必要がある。

その為には消防覚知以前の住民の早期発見、通報、初期消火は勿論、避譲義務の履行や消防水利の妨害などのないことを強く求めるより途がないのであります。

私、先日も午後八時頃管内の或る工場での火災に出動しましたが、出火建物より三百米も隔れた家からの通報であり、到着時には既に隣ビル六階建屋上まで物凄い火の粉があがっておりました。

以上、わかりきったことをくどく申しましたが、国民皆消防の重要性を御認識願い、火災現場の消防空白短縮時間火災追放、ひいては明るい社会建設のため、「私の立場」というテーマをお借りして私見を述べ、皆様のご協力をお願い申上げると共に、益々の御奮斗される事を心からお祈りいたします。**昭和40学二法**

「私の立場」への投稿はスペース千二百字程度、顔写真をそえてお送り下さい。宛先＝吹田市千里山関西大学校友会事務局

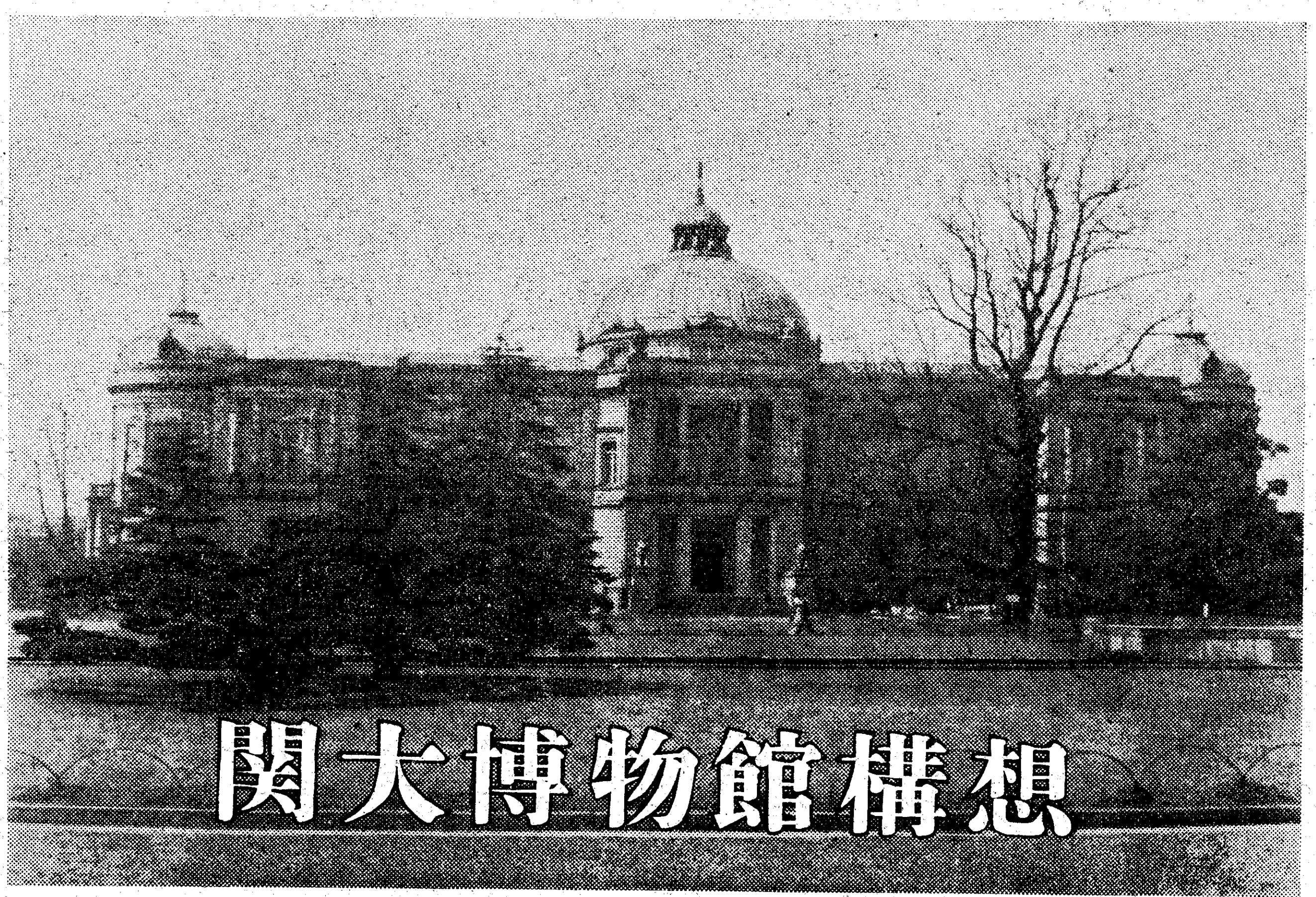
コーキ印
各種袋物鞄嚢専門卸
株式会社　廣島屋本店
専務取締役　蔵田廣造（昭和25年経済卒）
営業所　大阪市東区博労町一丁目二六
TEL　大阪（261）二四三一

トヨペット　クラウン　デラックス
現金正価（大阪店頭渡し価格）
MS41型（6気筒2000cc105馬力）……1019,000円
MS41―C型（トヨグライドオートマチック）……1079,000円
MS41―B型（6気筒2000cc100馬力）……881,000円
MS41―CB型（トヨグライドオートマチック）…946,000円
いずれも4気筒は　6気筒の4万円安。
大阪トヨペット
大阪市福島区上福島中2―64
電話（大代）大阪（451）6181

株式会社　竹中工務店
取締役社長　竹中錬一
本店　大阪市東区本町4丁目27　電話　大阪252局大代表1201
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・北九州

最高の性能を保証する
自動制御バルブ
圧力調節弁・温度調節弁
ダイヤフラム弁・ピストン弁
水位調節弁・各種電磁弁
各種弁・各種スイッチ
設計・製作・販売
株式会社　三協製作所
取締役社長　松井剛
大阪営業所　大阪市東区内久宝寺町二丁目31　(761)5333―8
本社工場　大阪市東住吉区平野本町一丁目98　(791)1336―7
広島営業所　広島市国泰寺町99　④0056・9354
東京出張所　東京都千代田区内神田一丁目16―1　(292)―7994

学芸



関大博物館構想

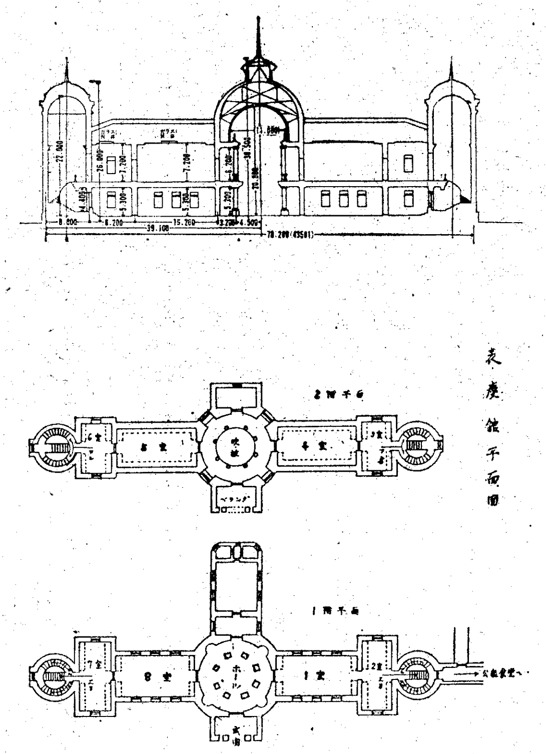
文学部教授 文学博士 末永雅雄

私は従来博物館経営に直接の関係をもって来たものではないが、考古学という物質資料を対象とする学問の性格から、ときどき博物館の創設あるいは関連事業を取扱うことがあるのと、大学に博物館を建設することは図書館の存在に相対した重要さをもつ施設であることを早くから感じていたので、関西大学に就任当初（昭和二十五年四月）から、付属博物館の建設と資料収集の事業を心がけつつ数年を経過した。

たまたまかつて私が若いときに整理をしていた、毎日新聞社長本山彦一氏の御逝去後、多年にわたる収集品の処置について、二世本山彦一氏から私に、「父が学界に寄与すべく収集した資料であるから、できるなら末永の所属する大学にあることが望ましい」との話があった。

そこで、関西大学の考古学資料として引き取って頂けるよう理事会に申請した。私は文学部に属するから当時の文学部長上道教授を経て大学への搬入を懇請し、上道教授はこの交渉に対して大いに協力をせられた。日本の考古学界に知られた本山考古学資料がいまわが大学にあって、研究と教授資料に大いに役立っているのは、かような経過にもとづくものである。（いまも考古学標本費としてつけられている予算はこのときからはじまる）

その後、考古学研究室で調査したり、購入した標本類が次第に増加して来たし、現在図書館の三階に小陳列室を置けるところまで来たが、この間すでに十余年の年月を越えたのである。初めにも記したように、大学における博物館建設は文献の図書館と相並んだ意義をもつので、多数の資料を小陳列室に押しつめて置くよりも、さらに適当な広さと施設をもった博物館を建設し、まず第一に学生の教育に資し、つぎには社会一般にも公開して、現行の博物館法の主旨に則した処置をとって、学内はもとより学外をも益する博物館を建設して欲しいという希望を、私が文学部事務室を経由して大学当局に提したのは、今から七～八年前で、これが第一回、つぎに二～三年の間を置いて出した。このときは東京国立博物館の「表慶館」をモデルとして具体的な意見をつけたのであったが、昨年の秋、博物館学の講義のある大学と各博物館によって設けられた博物館学関係者の集まりに、有坂教授に代わって行って頂いたとき、有坂教授は各博物館なり大学付属博物館施設を見て感じられたのは、関西大学にも充実した博物館建設の必要なことであった。そこで博物館建設に関するいろいろの手続や試案を立案することについて有坂教授を煩わすこととなったのであるが、本紙で二回にわたり横田・有坂両教授が博物館に関する記事を書かれたのも、切実なる建設の必要を説かれるためであった。そうした経過から、ときどき私に対してどんな構想をもっているのかと尋ねられることも多く、また私としても一応は大学内外関係の諸氏に聞いて頂きたいと思うのであるが、元来私の考える本学の博物館は、文献を保有～一冊でも多くの～して学生の教育に役立たせる図書館施設に相対して、多数収集した物質資料からの人類の歴史を視覚によって研究・分析する場所として早く関西大学付属博物館（以下関大博物館という）が欲しい。それは特に関西大学に本務をもつ一員としての希望であることを知って頂きたいからである。



博物館のモデル

私の博物館建築についての当初からのモデルは、現在東京都の上野公園にある東京国立博物館の中の「表慶館」である。この建築は現在ではすでに近代感覚には乏しい構造であるということは否定し難い。最近各地に建設せられる博物館や美術館はさすがに時代文化の華やかさと進歩の状態をもつ建築と施設を示している。これはこれでよい。なんらわれわれの容喙すべき余地はない。

そこへもって来ると「表慶館」はいかにも古典的な感じがする。しかし、それだからと云ってどこがいけないということもない。私は考古学専攻だから古典的な形式をあえて求めるわけではなく、理由はこうである。

関大博物館にはまず明るい、あるいは見やすい展示施設を第一とするが、同時に最も完璧な資料の収蔵庫としてつくって欲しい。いつかは襲い来ることのあるかも知れない天災・地変に対して、ビクともしない、それは、暴風雨・地震・人為的被害等のあらゆるそうした急変から、完全に資料を守り抜くことのできる施設でなければならない。そのため最近どんどんできるスマートなガラス張りの箱のような建築に対して、私は必ずしもこれを非難するわけではないが、いささか危惧を伴うこともある。そのため関大博物館は、窓は堅牢と抵抗性をもつ明るい扉と、その外部に万一の場合を守る一層強靱な鉄扉で、二重の封鎖ができて外からの被害に対処し、内部は各室が完全に遮断される装置をしてどんな動揺を受けても列品は乱れない（限度はあるとしても）。中にいる関係職員は、数日間の籠城にも堪えうる非常時態勢に備えかつ外部との重要な情報交換と館への出入が、停電だけですっかり絶えてしまうようなことにならぬ施設など、設計上に深い注意を払って欲しい。資料の管理・研究面についてはあらためて設立後にしても遅くはない。

博物館の内容

私が「表慶館」をモデルにし、これに一層の近代化した施設をもって充実した、関大博物館の建築の拠り所とするもう一つの理由は大正十二年九月一日の東京地方大震災にあたり、付近にあった建築の大部分が甚しい被害を受けたにもかかわらず、この「表慶館」は泰然としてあった。もっともその当時は建築完成後の年月も浅かったせいもあるが、付近多数の住民はここに避難をした。この点から云えば「抵抗試験済」である。

また図・写真でわかるように中央の主屋から東面して左右に両翼がある。この構造は設計さえよければ年次計画的に増築してゆく上の自由さと便利さがあるし、現代の建築機能を適切に加えれば、決してみにくい外観にはならない。現在は二階建で照明度は悪いが、これは今後の建築文化・技術ではなんら困難なことではない。

つぎに関大博物館としての内容である。これは私は最初の構想として、

(1) 考古学　建設初期にあたっては東洋を主とし、西洋は漸次増強する。

(2) 日本古文書・記録　最近は注意することも多くなったがまたどんどんと散逸しているから記録（特に近世・近代の）を収集し、展示をする前に学生に記録を読む実習を兼ねた整理をする。この事業は各学部に共通してできるし、館内に特に広いスペースをとった整理室・研究室を要しない。

(3) 大阪を中心とした生産・交通に関する古代から現代までの資料

以上は私の主軸とする試案であったが、あるとき故宮嶋理事長と話していたとき、宮嶋氏は演劇・芸能面部を加えてはどうかといわれ、かなり強い希望をいっておられるらしかったので、私は大阪歌舞伎のように現在すでに保存処置を講じなければならないものもあるのだから、

(4) 演劇

(5) 民俗学資料一般、これはかって京都大学の国史標本室において民俗資料の収集を故西田直二郎先生から命ぜられ担当したこともあるので、本学でも着手していた。

をとりあげて、一つには広い学問的視野から、一つには郷土色をもった博物館内容として欲しいとまでは考えている。

固定保存の意義

もう一つの希望は、このごろの各博物館や美術館などは展覧会で追いまわされているところが少なくない。わが大学関係者の中にも当然そうあるべきだという人もあるだろう。しかし私は全然反対の意見をもっている。大学の博物館も現行の博物館法に基づいて公開が考えられており、これに従うべきことも考えられ、対社会的貢献を無視するわけでもないが、こうしたことは大学でも必要があるかどうか、ここに私の疑問がある。たびたび陳列替えに追われるようなことは大学では無理だと私は考える。博物館学の受講学生への実習なら別として、大学の資料はあまり一定の場所から位置を転々することは、資料の保護・保存の上からいっても好ましからぬことである。一般社会への啓蒙なり、研究者のためにする考古学・美術・彫刻等の資料の展覧会にはつねにこうした点に深い悩みをもっている。それは資料保全と矛盾を来たすことが少なくないからである。

過般私は四十年前の記憶をたどって京都大学の考古学標本室で資料を探したとき、一定のケース内で昔のままの位置に保存せられてあったことに強い共感を覚えた。これは一般の博物館や美術館であれば、四十年も同じところに置いてあることに対して恐らく非難を受けるようなことがないとはいえまい。いま私たちのいる千里山の図書館の入口に若干の考古学標本と民俗資料や模型などの資料を置いてあるが、これなどもときどき陳列替えをすべきだという考えもあるそうだが、こんなことは当事者の適当と考える処置に一応任せて置いてもらいたいものである。

しかしこの意味は忠言を反発するのではない。前に云う通り大学の資料展示の精神は、品物を置きかえて社会の大衆に見てもらうことを考える以前に、学生の研究心を誘致して、そのときには要求に応じて、研究を進めさせるためには別に蔵置してある資料も面倒を思わず出してやるべきである。こうした点について概括して博物館といっても、すべてを同じ取扱いにする必要はない。むしろこの場合大学付属博物館としての性格を考えなければならぬ面がたくさんにある。

早期建設を

最後に述べて置きたいことは、私が大学に博物館建設を早く進めて頂きたいと希望する熱意は上記のように早くからもっているが、物事にはすべて計画が伴う。そのため大学が学生の教育のために充実した計画と実施を行なうにあたり、施設で優先すべきものの順位があるはずである。このことを思えば、博物館建設は教育施設としての重要性をもちろん私は強調する。しかし是が非でも今明年の計画に加えてもらわねばならぬというような、大学自体の経済的運営を考慮しない主張をすることは差しひかえようと思うのであるが、私が関西大学を辞し、あるいは現世を去ったあとでも理想的な関大博物館ができ、資料の保存が十分に行なわれ、かつ増加し、管理よろしきを得て、これによる教育効果がどんどん向上すれば、私が関西大学でわが人生の後半世における学問的生活のできるようにして頂いたことに対し、ささやかだが大学充実の進言が容れられたものとしてこの上もない喜びである。

いまこうしたことのために、まず私の担当する考古学資料の整備と収集に努力しているのであるが、やがて関大博物館資料の一構成たる収蔵品全部が、陽の目を見る時期を実は待ちかねている次第である。（昭和四一、七、一）

（注）上来私は「関大博物館」という言葉をしばしば使ったが現行の博物館法では、名称はこれでよいが、法規上大学の設置する博物館はすべて「博物館相当施設」として取扱われるものである。

参照の写真と図は東京国立博物館考古課の三木文雄博士から借用した。

ソ連の印象

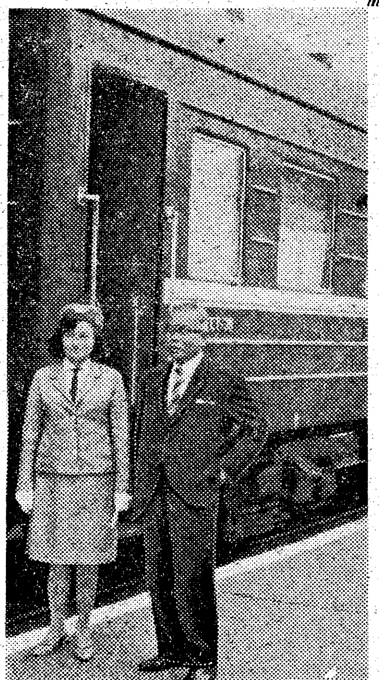
池田要二郎

6月5日から22日間、ソ連を中心に欧州8カ国を視察し、このほど帰国された池田要二郎氏に見たまま感じたままのソ連を国民の日常の生活を通して執筆下さるようお願いした。

女性の労働、子無し税、質素な百貨店、へつらわぬ国民性など日本との対比の中にソ連の実状を表わした文章である。

たくましい前進

ぶあいそうで乱暴な運転　ポンコツ車が横行



ソ連は　「鉄のカーテン」の国だと聞かされていた。終戦後、共産国は自由主義諸国のように簡単に出入りできなかったせいもあるだろう。しかし、現在のソ連は鉄のカーテンが完全に取りはらわれ、まことに開放的だった。あるいはそんな批判を反省しているのか、是正しているのかわからないが、外国人に対し、ありのままのソ連をみてもらいたいという気風がみなぎっているように感じた。わが国を訪れた全ソ運輸通信道路建設労働組合のコンノフ議長らも出迎えてくれた。

ソ連の　人々は労働に活気があり男も女も職場で生き生きと働いている姿が強く印象づけられた。明治以降、終戦までわが国は国民皆兵を国策にしてきたが、いまのソ連は〝国民皆労〟であり、家庭に閉じこもっている主婦はほとんどいない。腕まくりをし、ハチ巻きをしめて、相当な重労働にたずさわる婦人も数多い。

官庁、病院、税関など公共機関で働いているのは少数の大幹部を除いてほとんど女子である。余談になるが、私はソ連に入ってしばらくすると、食物の関係からか持病の痛風（尿酸性関節炎）が再発して入院した。五人の医者が診察してくれたが、これが全部女医である。モスクワには世界的に有名な女医が二十人もいるそうだ。ソ連にきた外国人が病気になれば、完全に治して帰ってもらうのが国の方針だといい、すべて無料で治療してくれた。このようにあらゆる職場に婦人が進出しているので奥さんの収入も主人と変わらない家庭も多かろう。日本のように亭主関白型は少ないだろうと想像された。ソ連は土地が広くて人口が少ない。そこで戦時中のわが国のように〝生めよ殖やせよ〟政策をとっており、夫婦の間に子供が生まれなければ税金（子無し税）をとる。また三人目までは自分で養育しなければならないが、四人目以上の子は一切の養育費を国が負担している。

ソ連は　住が優先し、衣食はおそまつである。モスクワでは、毎年三五〇〇平方㌔の住宅が建設されているそうだが、いずれも九階建の高層ビルに統一されている。モスクワで一番大きい「グム」というデパートに入ってみた。もちろん国営である。ものすごい人混みは日本と似ているが買い物客の服装は男女ともきわめて質素である。驚いたのは日本の百貨店が陳列ケースを美しく飾って購買欲をそそっているのに反し、こちらはそんな配慮が全くなく、日本でいえば昔、田舎でみられたみやげ物屋みたいな感じだ。高級品はなく服も既製品が大部分。食料品売り場も日本のように派手な感じはなく、一部のスペースを割いて、ソーセージとか、あの堅い黒パンがひっそり並べられていた。電気製品、ラジオ、レコード類もあるにはあったが、八日間いて買いたい物がなかったということで、その状態をご想像願いたい。白粉、口紅も三年前から使用が許されたということだ。

モスク　ワの交通機関は地下鉄を中心に発達してきた。地下鉄は二段になっていて時速七十㌔、縦横に走っている。この地下鉄を主役にし、市電、バスがあり、もっともウェートの低いのがタクシーである。タクシー利用層は、手荷物が多い人か、子供づれか、旅行者に限られているようだ。道路交通は比較的閑散であり、砂ぼこりはたたないしスモッグもない。タクシー運賃は、中型クラスで二㌔八十円、平均三百㌔走って水揚げは一万一千円、日本のそれとよく似ている。

また時間距離併用メーターを採用しており、この制度は他の共産圏諸国も同じだった。運転手は、一、二、三級と三階級に分れ、一級が一番上。階級をあげるためには試験を受けなければならないが、たとえ試験に合格しても、上の階級に欠員がなければ上がれないシステム。すべて職能給で、勤続年限は給与に関係しない。一級運転手で一カ月三万五千ー四万円、二級五万ー五万五千円、三級七万円程度で、給与水準も日本とほぼ同じである。

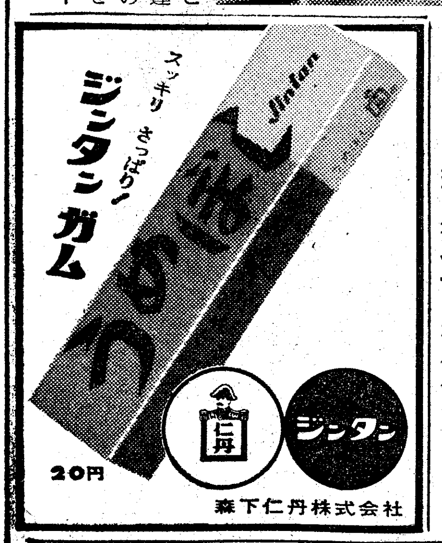
ソ連ら　しい傾向として労働組合の力は強い。組合は利益金の三六%を還元され、この資金と組合員の掛け金で運営している。またその一部が成績のよい運転手に還付されている。組合はサナトリウムなどの保健施設も建設している。労働はすべて一日八時間を原則とし、二交代システムをとり活気に満ちている。国としては一日十六時間の生産活動だから、能率は大いに上がるわけだ。超過勤務をすると金や物で手当てを与えず〝休養〟で与える。労働者は一日八時間に換算してこれを貯えておく。担当期間を経過すると、休養の量が一カ月や二カ月にもなる。すると労働者は長期の楽しい家族旅行にでかける。組合はこの間の給与の三分の二を補助する。わが国でいう有給休暇になるわけだ。

特別設　計の頑丈なタクシー・キャブを使っているが、修理や飾りに神経を使わないせいか、まるで〝ポンコツ場〟から呼び戻したようなお粗末な車が多い。備品もこわれたままで、私の乗ったタクシーには灰皿さえなかったので、運転手に吸いがらはどこに捨てるのかときくと、床に捨てて足で踏み消してくれ、といった。運転ぶりは乱暴である。これはタクシーに限らない。旅客機の着陸操作でもそうだった。ロシア人のお国ぶりといったところか。料金を渡しても「ありがとう」という言葉は絶対にいわない。チップをやっても同じである。百円ぐらいの釣り銭だとこれまた絶対に渡さない。日本の運転手がソ連式を真似ると困るので、大きな声ではいえないが乗せてやるというのがソ連のタクシーである。

ソ連を　みたまとめとしてソビエットの人々はなりふりかまわず、活気に満ちてピチピチと働き、将来へのビジョンをもって力強い前進をつづけている恐るべき国民であるといえよう。

ソビエトの印象から、現代日本をふりかえると、消費文化の点では、日本人は幸せ過ぎている。住の点ではソ連に劣るが、こと衣食になると比べものにならないほど日本は高水準であり、あちらではテレビアンテナが林立する風景とは全くみられない。一流ホテルに泊っても、日本のように各部屋にテレビは備えられていない。

質素な　がら、希望に満ちてたくましく前進している戦勝国ソ連、高水準の消費文化を誇り、享楽にうき身をやつしてビジョンに乏しい戦敗国日本、考えさせられるコントラストではあるまいか。（大13　専商）



スッキリ　さっぱり！
ジンタンガム
20円
森下仁丹株式会社

お中元に　しにせの味を
長崎堂のカステーラ
本店　心斎橋周防町東入　電話(211)0551～2
阪神・近鉄アベノ店　上六店・阪急・大丸

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長　北原元茂

shiden strong
髪の定年延長！
発毛促進剤
カネボウシデン
＜医薬部外品＞
大切な髪をシデンでお守りください
毛に栄養をあたえ　発毛を促進します
（主成分スウエルチノーゲンは健保の適用を受けています）
カネボウ強力シデン　160ml　2,500円
80ml　1,500円
カネボウシデン　160ml　1,600円
80ml　1,000円
全国有名百貨店・カネボウチェーンストアにて発売中
Kanebo カネボウ
繊維製品から化粧品まで　世界でただひとつ　総合の美をつくる　カネボウ

旅　旅行のことならお気軽に校友のツーリストへ
安心して乗れる校友のタクシー　車
よい空気！　よい温泉！
よいプール！
水間鉄道水間終点・阪和線熊取駅
よりバス・タクシーあり
関西交通株式会社・八尾交通株式会社
株式会社関西ツーリスト
日本観光旅館連盟会員　松泉閣
本館　大阪府貝塚市木積3160　Tel　西かつらぎ局　23
大阪案内所　天王寺ステイションビル3階　関西ツーリスト　771−3988

大阪名物
登録商標

戎大黒の粟おこし上方ういろ
浪速の誇る味覚をそのまゝ伝える
大阪市北区扇橋電停前
戎大黒本舗
電話（351）1894・5894・2982
イハコシ　イハコシ　フグハフタツ